

第 59 回オール横浜コンテスト 規約

(注) 注意事項(7),(13)および提出先が今回改定されています

共 催：JARL横浜クラブ・横浜市アマチュア無線非常通信協力会（YAMと略す）

日 時：2007年8月26日 05:00～07:00(JST)

参加資格：アマチュア無線局

使用周波数：28MHz帯（JARL主催コンテスト使用周波数）

参加部門：市内電信、市内電話、市内複合(電信電話)、市外複合、

複合参加として 一般団体対抗、YAM 非常通信協力会支部対抗を設ける

交信方法：呼出； 電信「CQ YC」、電話「CQ 横浜コンテスト」

コンテストNR； RS(T)+区コード番号（区コード番号表参照）

交信相手：横浜市内局は 横浜市内および横浜市外局との交信が有効

横浜市外局は 横浜市内局のみ有効

得 点：完全なる交信において 電話1点、 電信2点

マルチ： 横浜市内局は 行政区+市外（最大19マルチ）

横浜市外局は 市内行政区のみ（最大18マルチ）

総得点：（得点の和）×（マルチの和）

注意事項：(1) 自局無線局免許範囲で運用のこと

(2) ログ・サマリーシートはJARL 制定または同等様式を使用のこと

(3) 参加部門をサマリーシートに明記のこと

(4) 運用場所は1ヶ所とし移動局はサマリーシートに町名等を明記のこと

(5) 移動局との交信でログに移動の明記の無いものは無効（例 /1）

(6) 市外局同士の交信は得点にならない

(7) エントリーは1部門のみとし、複数部門のエントリーは廃止する

(8) 複合部門で電波形式が異なる同一局と交信をした場合、最初の交信のみ有効とする

(9) 社団局は運用者名をサマリーに明記のこと、部門は個人局と同じ扱いとする

(10) 一般団体対抗、YAM 非常通信協力会支部対抗に参加される局はそれぞれの団体、支部名をサマリーシートに明記のこと、両対抗の参加を可とし、両方に個人得点が加算される

(11) ゲストOPの運用は不可

(12) e-mailによるログの提出を推奨（特にJARL形式歓迎、PDF、Excelも可）

メール件名は「横浜コンテスト」+「コールサイン」とする(横浜コンテスト JA1XXX)

(13) 新人賞は、開局5年未満の再免許申請をしていない局が対象、但し再開局は除く

(14) その他の規則はJARL コンテスト規約に準じる

提出先：郵送の場合； 〒226-0005 横浜市緑区竹山 2309-914 「コンテスト係」入谷 雅久

e-mailの場合； ja1cp@jarl.com （e-mail受領に対しその旨返信する）

締 切：2007年9月25日（当日消印有効）

表 彰：市内複合、市内電信、市内電話、市外複合、YAM 非常通信協力会対抗、一般団体対抗の各部門 上位3位まで表彰。新人賞（電話部門順位の10位以内）。その他 特別賞を用意。

『区コード番号表』

鶴見区	01	南区	05	港北区	09	緑区	13	青葉区	17
神奈川区	02	保土ヶ谷区	06	戸塚区	10	瀬谷区	14	都筑区	18
西区	03	磯子区	07	港南区	11	栄区	15		
中区	04	金沢区	08	旭区	12	泉区	16	市外	00